

[様式2]

令和4年度 第2学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

東京都北区立稲田小学校

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
<p>・内容の8項目中、目標値を7項目、全国平均を6項目上回った。「ものがたりをよみとる」では、目標値を0.2ポイント、全国平均を1.9ポイント下回った。また、「かん字をかく」で全国平均を0.8ポイント下回った。</p>	<p>・すべての項目で、目標値、全国平均を上回っている。特に、「主体的に学習に取り組む態度」は、全国平均より約10ポイントも上回っていた。</p>	<p>・内容別の中で低いものは「文章を読んでわかったことを共有している」である。誤答を見ると、本文の内容を正確に捉えられていない児童が多かった。また、無回答の児童も一定数おり、取り組む意欲に差が見られた。</p>
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
<p>・内容の8項目中7項目が、目標値、全国平均共に上回った。「たしざん」のみ、目標値を0.3ポイント、全国平均を0.7ポイント下回った。</p>	<p>・すべての観点で目標値を上回っている。                      ・全国平均よりすべての項目で上回っている。                      ・「知識・理解」「主体的に学習に取り組む態度」は、目標値を6ポイント以上と大きく上回っているが、「思考・判断・表現は」1.5ポイント程度である。</p>	<p>・「たしざん」「ひきざん」では、単純な計算問題は目標値を上回っているが、考えを説明する問題や、文章問題で平均値を下回った。身についた基礎的・基本的な力を活用するための、応用力をつけていく必要がある。</p>

[様式2]

令和4年度 第3学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
8項目中「話を聞き取る」「手紙のへんじを書く」の2項目が、それぞれ0.7ポイント、2.1ポイント目標値より下回る結果となった。区の正答率と比べてみると8項目中7項目が上回っているが、「話を聞き取る」だけは、区の87.3%という正答率に対して、81%と6.3ポイント低くなっている。	3観点とも目標値より9ポイント以上高い結果となった。区と比較しても全ての項目で上回ってはいるが、「知識・技能」3.7%、「思考・判断・表現」が2.8ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」でも3.8ポイントとわずかに区の正答率を上回る結果にとどまっている。	内容で区の正答率を下回ったのは「話を聞き取る」のみである。観点は「思考・判断・表現」だが、3問ある設問のうち、一番低い正答率だったものが記述式で、質問文を考えるというものである。聞き取ったことを活用して質問を考えるという、問題の形式に慣れていなかったことが原因と考えられる。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
・内容の8項目中7項目が、目標値、全国平均共に上回った。「三角形と四角形」のみ、目標値を2ポイント、全国平均を3ポイント下回った。	・すべての観点で目標値を上回っている。 ・全国平均よりすべての項目で上回っている。 ・「知識・理解」は5、9ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」は、目標値を6、5ポイントと目標値を上回っているが、「思考・判断・表現」は3、5ポイント程度であった。	・「三角形と四角形」は、方眼に正方形をかく問題は目標値を上回っているが、直角三角形の特徴を理解する問題は平均値を下回った。体験的活動を通して、基礎的・基本的な力をつけていく必要がある。無回答の児童も一定数いて、取り組む意欲に差が見られた。

[様式2]

令和4年度 第4学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
目標値と同値の「物語の内容を読み取る」以外、全ての内容において目標値を上回っている。「漢字を書く」の+8.9ポイントをはじめとして最高が「調べ方について話し合う」で+23.3ポイント。平均すると目標値を16.0ポイント上回っている。他の内容と比べると「物語」の分野は正答率が低い。	全ての観点において、目標値を上回っている。上から「主体的に学習に取り組む態度」の+21.2ポイント、「思考・判断・表現」の+15.7ポイント、「知識・技能」の+14.4ポイントとなっている。	設問ごとに見ていくと、最後の作文問題では4項目全てでおよそ+20ポイント目標値を超えている。一方、目標値を下回ったものは、全26問中2問。漢字の書き取りが2問あった内の1問で-4.8ポイント。もう1問は「叙述を基に物語を2つの場面に分ける」問題で、-3.2ポイントだった。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全ての内容において目標値を上回っている。「足し算・引き算」の+4.1ポイントから「わり算」の+18.4ポイントまで。平均すると+12.1目標値を上回っている。	全ての観点において、目標値を上回っている。上から「思考・判断・表現」の+13.3ポイント、「知識・技能」の+12.0ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」の+10.8ポイントとなっている。	設問ごとに見ていくと、目標値を下回ったものは、全32問中2問。一番正答率が低かったものは、目標値から-19.5ポイント低かった。図形の「思考・判断・表現」に関わる問題で、「円の中心と円周上の2点を結んでできる三角形は二等辺三角形になる」ことを説明する記述問題。他の記述問題は+27.7ポイントだったので、記述が苦手なわけではないようだ。質問に至るまでの情報の多さに混乱したのが原因か。もう1問の目標値を下回った問題は、数量の選択問題で、-4.6ポイントだった。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全ての内容において目標値を上回っている。「電気の通り道」の+3.6ポイントから「昆虫の体のつくり」の+16.7まで。平均すると、+9.3ポイント目標値を上回っている。	全ての観点において、目標値を上回っている。上から、「主体的に学習に取り組む態度」の+13.1ポイント、「思考・判断・表現」の+10.3ポイント、「知識・技能」の+8.0ポイントとなっている。	観点、内容ごとに見るとどれも目標値を下回るものはなかったが、設問ごとに見ると、国語、算数に比べて目標値を下回る問題が一番多かった。30問中6問。内容において偏りはなかった。目標値を-10ポイント以上下回ったものは2問。1問は回路、1問は温度計の読み方に関する問題だった。どちらも「知識・技能」に関わる基本的な問題だった。観点ごとに見ると「知識・技能」は目標値を上回ってはいるが、定着が不十分なものも見られる。

[様式2]

令和4年度 第5学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
8項目全ての内容において目標値より7項目が上回っている。しかし「漢字を書く」にいたっては、目標値より3.1ポイント、全国平均よりも11ポイントも下回っている。	全ての観点において目標値を8ポイント程度上回っている。区の平均値と比べると、「主体的に学習に取り組む態度」で1.6ポイント下回った。	どの内容においても観点にかかわらずよく理解できている。しかし漢字の記述だけは大きくポイントが落ちる。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
7項目の全ての内容において目標値、全国平均値より上回っている。しかし、「都道府県の様子」については、67.2と他の内容よりも低くなっている。	【知識・技能】【主体的に取り組む態度】においては、目標値を10ポイント以上上回っているが、「思考・判断・表現」は上回ってはいるものの3ポイントと他の項目よりは低くなっている。	どの内容においても【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】をみる問題の評価が低いことから、知識として定着しておらず、自分の考えを書き出せなかったと考えられる。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
10項目の全ての内容において目標値、全国平均、区平均より上回っている。他の項目は8ポイント以上差があるのに対し、「わり算・計算のきまり」は3.5ポイントしか上回っていない。	全ての観点において目標値よりも9ポイント上回っているが、【思考・判断・表現】においては、4ポイントと他の項目より低くなっている。	【思考・判断・表現】二次元表からわかったことを記述で説明する問題の正答率が低い。わかったことを自分の言葉で記述する力が弱いことがわかる。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
10項目のうちの4つの項目において目標値よりも校内平均正答率が低くなっている。特に「物の体積と力」は7ポイント「1年間の動物のようす」は6.1ポイントとかなり低くなっている。	【知識・技能】においては、3.9ポイント上回っているが、【主体的に取り組む態度】は、3.9ポイント低くなっている。自然の現象や生活している中での不思議なところに目をつけさせて授業をしたい。	「水のすがた」での湯気は液体であることを理解しているかの問題は、目標値よりも10.9ポイントも正答率が下回っている。また、「物の体積と力」の問題は2問とも7ポイントほど下回っている。物質・エネルギーの領域が弱いとわかる。

[様式2]

令和4年度 第6学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
8項目中7項目が目標値、全国平均を上回っている。「漢字の由来」「漢字を書く」については、目標値を下回っており、10ポイント以上の差がある。	どの観点も目標値、区の平均、全校平均を上回っている。「主体的に学習に取り組む態度」「思考・判断・表現」については目標値に比べ8ポイント以上上回っている。	「言葉の学習」を内容別に見てみると、漢字と類義語の理解が不十分であるため、「知識・技能」の正答率も他と比べて5ポイント上回る結果にとどまっている。「説明文の内容」は7ポイント以上、目標値より上回っているものの、「文章の構成を捉える」部分は17ポイント下がっていることから、要約して文章を読むことが苦手である。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
9項目中7項目が目標値、全国平均を上回っている。「日本の農業」については20ポイント以上上回っている。「日本の食料生産」は目標値、全国平均を下回っており、目標値とポイント0.7ポイントの差がある。	どの観点も目標値、区の平均、全国平均を上回っている。「主体的に学習に取り組む態度」については目標値に比べ9ポイント以上上回っている。	日本の食料生産についての「知識・技能」の正答率が低いことから、問題内容別の正答率も低下していることが分かる。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
10項目中全ての項目が目標値を上回っている。全国平均と比べると9項目上回っている。6項目が目標値を10ポイント以上上回っている。「面積」は全国平均を2.5ポイント下回っている。	どの観点も目標値、区の平均、全国平均を上回っている。また、目標値に比べいずれも9ポイント以上上回っており、「主体的に学習に取り組む態度」については18.5ポイント上回っている。	設問ごとに見たときに目標値を下回っているものが3問あり、そのうちの2問が「知識・技能」を問う問題であることから、比較的知識の理解が不十分であることが分かる。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
10項目中9項目が目標値、全国平均を上回っている。しかし、「ふりこのきまり」は目標値から9ポイント下回っている。	どの観点も目標値、区の平均、全国平均を上回っている。目標値から5ポイントほど上回っている。	領域別の「物質・エネルギー」で目標値は上回ったがその中の「ふりこのきまり」では、2項目で10ポイント以上目標値より下回った。計測の仕方を問われる問題であったことから「思考力」に課題があると考えられる。